

令和 2 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	58
--------	----

担当課	教育委員会	担当課長	森 裕子			
事業担当者	田実 真一	一次評価者	江上 智恵			
事業区分	継続事業	事務事業評価の履歴	有			
事務事業名	グローバル人材育成事業					
予算科目	10 款 1 項 3 目					
予算事業名	グローバル人材育成事業費					
総合計画での位置づけ (施策名)	学習・スポーツ機会を広げる					
事業の性格	自治事務					
法令根拠等	-					
事業の対象	町内在住の幼稚園児・保育園児・小学生・中学生・高校生・大学生					
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTを雇用し幼稚園、保育園、各学校に派遣することで、英語に触れて慣れさせること、英語活動の活性化を目的とする ・中学校にて英語塾を開催し、英語科の成績向上及び英語検定3級以上の取得を目指す ・修学旅行を利用し諸外国との交流の機会を設けることで、実践的な英語を習得させる ・海外の学校への語学留学を通して、語学や外国文化を理解するなど、国際的視野や広い見識を身に付けることを奨励する 					
実施期間	開始年度	平成 29	年度から			
	終了年度	令和	年度まで			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTを各学校、幼稚園、保育園へ派遣し、英語活動の充実を図る。 ・久山中学校において、株式会社トライグループと提携した英語塾を開催する。 ・小中学校の修学旅行において、英語体験活動を行うための費用を一部補助する。 ・海外語学留学に関わる経費の一部を補助する。 					
目的達成の指標 (成果指標)	第3学年の英語検定3級以上取得率					
	区分年度	単位	1 年度	2 年度	3 年度	4年度
	目 標	%	50	50	60	60
	実 績	%	42	58		
指標設定の考え方	中学校卒業時点で英語検定3級(中学校卒業程度)以上の能力を有し、実践的な英語を習得しているグローバル人材の育成機会を増やすため、取得率を指標とする。					
計画時の懸案事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTを町で直接雇用しているため、人材確保の安定性に欠ける。 ・英語塾参加にあたっての保護者負担費がテキスト代のみであるため、やる気や向上心が希薄な生徒が見られる。 ・修学旅行の行先は国際情勢に左右されやすい。 ・語学留学を、帰国後の町への貢献や、小学生・中学生への留学意欲の喚起に繋げる必要がある。 					
計画時の懸案事項への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTの安定した人材確保については、共同実施企業との協議を行う ・英語塾の保護者負担費用の在り方の検討・英語を体験できる国内修学旅行先の検討 ・海外語学留学者の帰国後、報告会の開催を検討 					

PLAN(計画)

No.2

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 2,370 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目	1 年度予算	2 年度予算	3 年度予算	4 年度予算	
事務量	① 人工数	0.08	0.08	0.08	0.08
	② 人件費単価	7,891	7,652	7,179	7,179
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費(①×②-③)	631	612	574	574
事業費	直接事業費	19,647	21,200	19,226	20,000
	人件費	631	612	574	574
	合 計	20,278	21,812	19,800	20,574
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	9,100	10,900	9,613	
	一般財源	11,178	10,912	10,187	20,574
合 計	20,278	21,812	19,800	20,574	

事業費計画

(千円)

区分/年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
目 標	19,647	21,200	19,226	20,000	20,000
実 績	19,135	17,871			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ALTの雇用人数	人	3	3	3	3
		3	3		
英語塾開催回数	回	30	30	30	30
		29	28		
海外の学校との交流回数	回	2	2	2	2
		1	0		
イングリッシュスクエア実施回数	回	2	2	2	2
		2	1		
海外語学留学支援者数	人	5	5	5	5
		0	0		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 2,008 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目	1 年度決算	2 年度予算	2 年度決算	3 年度予算
事務量	① 人工数	0.08	0.08	0.08
	② 人件費単価	7,891	7,652	7,652
	③ 補助事業人件費	0	0	0
	人件費(①×②-③)	631	612	612
事業費	直接事業費	19,135	21,200	17,871
	人件費	631	612	612
	合 計	19,766	21,812	18,483
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	9,567	10,900	8,935
	一般財源	10,199	10,912	9,548
合 計	19,766	21,812	18,483	

実施備忘録

CHECK(評価)

No.3

自己評価	評価者	田実 真一
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

項目	評点	判定
1. そもそも必要な事業か？ <input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。 <input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。 <input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。 <input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5 3 4 5	A
2. 町が実施する必要があるか？ <input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている。 ※該当する場合は左の口にチェックしてください。 <input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。 <input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。 <input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3 5 3	B
3. 実施内容は適切か？		
①有効性 <input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。 <input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。 <input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	5 4 4	A
②効率性 <input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。 <input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。 <input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4 4 4	B
③公平性・透明性 <input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。) <input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。 <input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3 4 4	B

今後の方向性	A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの	C見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る) <input checked="" type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める) <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E完了		<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

将来を担う子ども達が人間性と創造性を育むための一つとして、グローバルな人材を育成する本プログラムは、総合計画後期基本計画に合致しており、必要・有効な事業であると言える。本年度は、ALT(外国語指導助手)を3名雇用し、各幼・保・小・中学校に派遣した。英語塾については、74名の中学生が受講し受講生の多くが英語力をUPさせていることから有効な事業と言える。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

ALT(外国語指導助手)の雇用方法について、派遣委託ではなく直接雇用であるため、雇用管理事務に相当な時間を要しているが、英語に興味を持つ児童生徒が増加しており、その成果は確実に上がっている。また、英語塾に参加した多くの生徒が飛躍的に成績を上げており、本町における児童生徒の英語力向上に当該事業が寄与するところは大きい。

新型コロナウイルスの影響により、令和2年度は海外語学留学などの事業を実施を見送った。令和3年度以降も国内外の状況を見ながら実施について判断する必要がある。

久原本家グループからの事業支援により軽減されており、今後も継続していくべき事業であると考えている。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

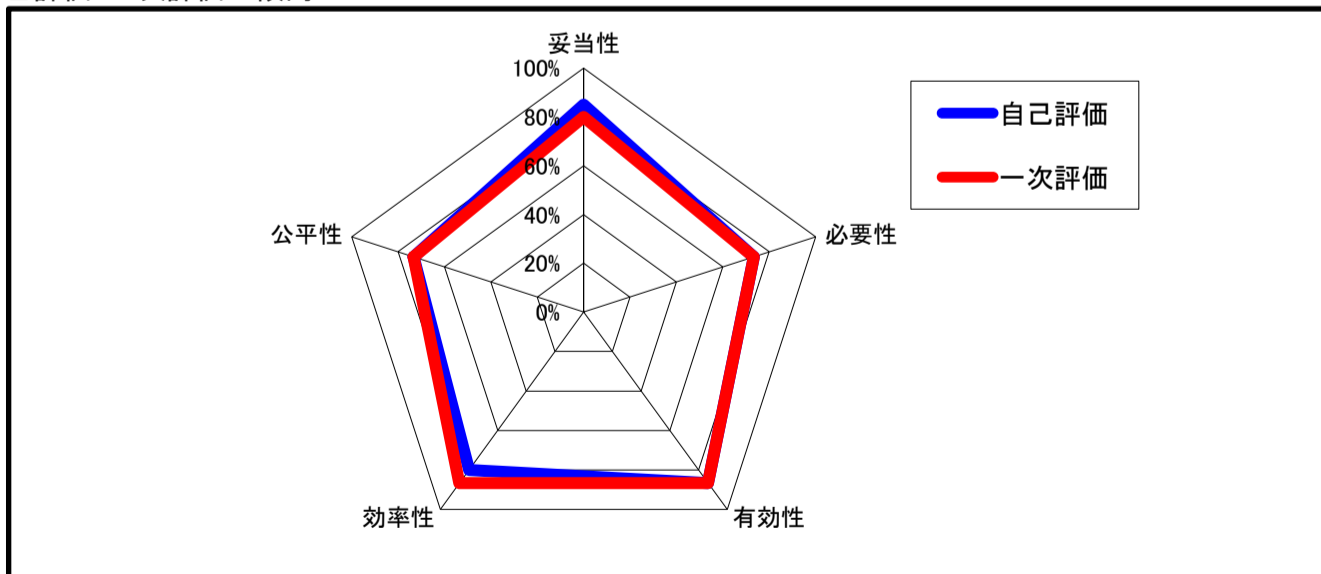
一次評価	評価者	江上 智恵	5段階評価で評点を付けます。 5 大 ←→ 小 1 ↓	
1. そもそも必要な事業か？			評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。			4	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。			3	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。			4	
<input checked="" type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。			5	
2. 町が実施する必要があるか？				
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている。 ※該当する場合は左の口にチェックしてください。			3	B
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。			5	
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。			3	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。				
3. 実施内容は適切か？				
①有効性				
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。			5	A
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。			4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。			4	
②効率性				
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。			4	A
<input checked="" type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。			5	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。			4	
③公平性・透明性				
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)			3	B
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。			4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。			4	

今後の方向性	A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの	C見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)		<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input checked="" type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)		<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> C見直し		<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> D廃止		<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> E完了		<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

グローバル人材育成事業ではALT3名を雇用することで、幼保小中のスムーズは英語教育の継続につながっている。また、英語塾の開催で、英検の合格率や英語の学力の向上に確実に繋がっており、その成果があがっていることは明確である。このようなソフト事業は継続することでさらに効果があがることが期待されるので、さらに工夫をこらしながら継続していきたい。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.5

二次評価

評価者

森 裕子

- A以下の点について良好と評価し、コストを拡充し更なる事業推進を図る。

- B計画どおり、現状のまま事業を継続する。

今までも成果があがっており、継続することで効果があがることが想定される事業である。

- C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するため計画の見直しを行う。

- D事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会
で評価する。

月 日
開催予定

- E事業の目的を達成し、事業完了したと判断する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり
直し、
月 日
までに提出すること。

評価終了
 外部評価へ

ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

外部評価

今後の方向性	A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの	C見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る) <input checked="" type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める) <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E完了	→	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

評価	B	外部評価委員の意見 ・英語だけでなく多様な知識・経験を持ったグローバル人材育成が必要。 外部の意向や支援の下実施されているが、町のグローバル人材育成方針や外部の支援がなくなった場合の事業の継続性について、再度検討する必要がある。
----	---	---

経営者会議

経営者評価	町長
-------	----

今後の方向性	A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの	C見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る) <input checked="" type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める) <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E完了	→	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

評価	B	経営者会議の結果 ・グローバル人材とは、外国の文化や歴史を理解し、多様な習慣や価値観を受け入れ、将来を見据えた資質・能力を身に付けるとともに、ふるさと久山を愛する豊かな心をもった人材である。英語だけを学ぶことが、グローバル人材育成につながるとは考えていない。 ・今後は、英語力の向上を図るだけでなく、広い視野を持って国際理解を深めるなど、世界で活躍するために必要な力を養う事業も展開していきたい。
----	---	---

令和 4 年度予算要求事項(今後の取り組み)	
・ICTを活用して外国の文化や歴史、言語などを理解し、多様な習慣や価値観を受け入れる取組を行う。例として、外国の街並みを疑似散策する動画ソフトを活用した外国の文化や歴史の理解、ALT・過去の語学留学生等を介した外国の方とのZoomによる交流の展開を図る。 ・令和3年度に計画まで進んでいるものの、コロナ禍で実現に至っていないALTと小学校児童の希望者による外国(ALT出身の国)の郷土料理・特色ある料理の料理教室の開催。	